

守山まるごと活性化 議事要旨

作成者: 坂田

イベント名: 第3回「歴史・伝統文化プロジェクト 歴史伝統文化部会」会議

日時: 令和元年11月2日(土)午後3時30分から午後5時15分まで

場所: 玉津会館 会議室1

参加者: プロジェクトメンバー 8名 会館2名

開催結果

内容

1. 協議事項 進行:リーダー

・リーダーより当部会の目的の説明。

①部会員自ら、玉津学区の歴史伝統文化の理解を深め、玉津学区民に伝えていくことで玉津学区の活性化を図る。

②玉津学区の歴史伝統文化を学区内外の住民に広めることで、玉津学区の活性化を図る。

⇒この内容で、決定する。

・リーダーから内容の説明

①令和元年度

○テーマ:玉津学区の地名の由来調査、地域図(湖岸・川)の変遷

②令和2年度

○玉津学区の人物と史跡

③令和3年度

○玉津学区の人々の暮らしと文化(特産物・長刀祭り・風習・言い伝え等)

④令和4年度

○玉津学区の歴史散策マップ作り

令和元年度から令和3年度までの内容を踏まえ、歴史散策マップ作りを行う。

⑤令和5年度

○玉津学区の歴史伝統文化部会の冊子作り(まとめ)

令和元年度から令和4年度までの内容を踏まえ、冊子作りをする。

※各年度毎に、大庄屋諏訪家屋敷まつりで発表もしくは展示を行う。

【意見】

・メンバーは、現在の12名のみで活動していくのか。

⇒現在は、増員するよりそのまま進めていく方がいいのではないかと感じたら増員する方向で検討する。

また、テーマによって人員が必要となるケースがあるため、テーマが決定し、調査を開始してから検討するのもあり。

・矢島歴史の会を巻き込んでどうか。

⇒巻き込むことも可能ではある。しかし、調べている内容が専門的な傾向があり、部会で同じことをしていくのは負担が大きい。手順を勉強するための足掛かりとして講義をしてもらう方が良いのではないかと。

・語り部部会を巻き込んで進めていくのはどうか。

⇒語り部のメンバーを入れるのではなく、まとめたりする場合に講師という形で来ていただく方向で検討する。

・自分達で分かる(調べられる)内容については問題ないが、専門分野の場合は講師を招くようにする。

・内容に、地名の由来等が書いてあるが、地名の由来を一番初めにもってくると難易度が高いのではないかと。そのため、昔の生活(暮らしと文化)を調べ、まとめる方が足掛かりとしては、一番いいのではないかと。

・一度、矢島歴史の会の発表を聞いて、検討するほうがいいのではないかと。

以上の話し合いの結果、歴史伝統文化部会では

『地名の由来』について調べていくこととなった。

- ・調査して結果等を、発表できる場所を検討すること。
- ・最終的に、マップ、冊子等にまとめる。